

保健福祉企画総務課長 様

北区役所建設課長

設計支援委員会結果報告書

平成22年 2月設計支援委員会に付議した、下記の施設整備事業について、結果を報告します。

記

事業名 (整備概要)	都市計画道路 下中野平井線(旭川工区)街路事業 (整備概要)場所 岡山県岡山市北区十日市中町地内ほか 内容 道路0.46km 橋梁0.59km	
設計支援委員からの意見		具体化の結果・状況
階段から橋の自転車歩行者道(以下「自歩道」という)に入る部分に少しでも勾配があると車椅子にとっては危険なので、そのあたりの安全性はどうなっているか。	斜路から橋の自歩道に入る部分には、勾配がない踊り場を設けるように検討します。	
階段・斜路と橋の自歩道の交わる所では、よく接触事故や怖い思いをするので、自転車が飛び出て来ないように欲しい。	注意看板や路面標示を設置するなどの対策を検討します。	
橋の自歩道から急に階段に変わる部分は、非常に危険なので、何か対策をして欲しい。	注意看板や路面標示を設置するなどの対策を検討します。	
自歩道において歩行者と自転車を分離する対策は検討しているか。また、対策が標識・標示だけであるならば、起点・終点だけではなく、中間地点にも分かるように欲しい。	4mの自歩道を2mずつに分けて、路面標示などで歩道部と自転車道部とが区別できるようにします。また、起点・終点だけではなく、中間地点にも標識・路面標示を設置します。	

<p>自歩道への誘導用点字ブロックの設置は検討しているか。</p>	<p>設置を検討しています。</p>
<p>斜路から降りて、下の自歩道と交差する箇所が危ないので、対策を検討してほしい。</p>	<p>可能な対策を検討します。</p>
<p>歩行空間内に防止柵等を設置する場合、防止柵等の高さが低いと、弱視の方には非常に危険なので、目線の高さに注意看板を設置するなどを検討してほしい。</p>	<p>検討します。</p>
<p>階段手すりは、階段部分だけでなく踊り場まで伸ばしてほしい。</p>	<p>踊り場の隙間等を考慮し、手すり設置範囲を検討します。</p>
<p>標識や路面標示は、岡山市と警察の施工範囲が違うと思うが、供用開始時にはどちらも設置完了の状態にしておいてほしい。</p>	<p>警察と協議・調整し、供用開始時の通行に支障が生じないように努めます。</p>
<p>斜路の設置が北側だけなので、南側から車椅子で橋を渡るためには、横断歩道を利用して北側へ移動しなければならないので、横断歩道の信号にバリアフリー対応型信号機等(青の時間を延長等)の整備を検討してほしい。</p>	<p>信号設置権限を有する警察と協議します。</p>
<p>斜路の勾配8%はきつく、約150mもの距離を車椅子で登れる人はほとんどいないし、下がるのが危険。5%勾配なら登れるが、距離がもっと長くなり、いずれにしても利用されない可能性が高いと思われる。斜路を設置するよりも、利用の可能性の高いエレベーターの設置を検討してほしい。</p>	<p>維持管理等も考慮し、検討します。</p>